



対日理解促進交流プログラム「JENESYS2026」 台湾派遣プログラム（テーマ：食とスマート農業） 募集要項

「JENESYS2026」台湾派遣プログラムへの参加を希望する学生を下記の通り募集します。

I. 概要

1. 事業概要

対日理解促進交流プログラムは、日本政府（外務省）が推進する事業であり、日本とアジア大洋州、北米、欧州、中南米の各国・地域との間で、対外発信力を有し、将来を担う人材を招へい・派遣するものです。

JENESYS2026 派遣事業は、対日理解促進交流プログラムのうち、アジア大洋州の各国・地域を対象とした事業です。10名の将来を担う人材を対象とし、台湾へ7日間派遣します。

2. 目的

日本の大学生、大学院生を2027年3月10日から3月16日にかけて台湾に派遣し、食とスマート農業に関する視察、台湾の大学生との交流を行います。また、プレプログラムとして、2027年1月13日から1月19日にかけて来日する台湾の大学生に対し、日本側ホストとして1泊2日で合宿交流を行います。こうした交流を通じ、青年間の友情を育み、日台の絆を更に強固なものとする 것을 目的とします。

※対日理解促進プログラム「JENESYS2026」とは：

日本と台湾との間で、対外発信力を有し、かつ将来を担う人材を招聘・派遣又はオンライン交流を通じ、政治、経済、社会、文化、歴史及び外交政策等に関する対日理解の促進を図るとともに、日本の外交姿勢や魅力等について、本事業参加者からSNS等を通じて積極的に発信してもらうことで対外発信を強化し、我が国との友好関係を強化することを目指しています。

3. 派遣国・地域・派遣期間・派遣日数・人数

- 派遣国・地域：台湾・南部地域（高雄市及び同市近郊の県及び市）
- 派遣期間：2027年3月10日（水）～3月16日（火）
- 派遣日数：7日間
- 派遣人数：10名

4. プログラム内容（全てのプレプログラム・本プログラムに参加できることが必須条件です）

(1) 第1回オリエンテーション（オンライン）：2026年12月16日（水）18：30～20：00

(2) プレプログラム：台湾大学生との合宿

場所：国立オリンピック記念青少年総合センター（代々木）

期間：2027 年 1 月 16 日（土）～2027 年 1 月 17 日（日）

内容：視察、プレゼンテーションやディスカッション

(3) 第 2 回オリエンテーション（オンライン）

日時：2027 年 3 月 3 日（水）18:30～20:00

内容：最終日程確認、注意事項説明、訪台時プレゼンの事前演習など

(4) 台湾派遣：2027 年 3 月 10 日（水）～2027 年 3 月 16 日（火）

内容：現地の関係機関への表敬、大学・大学院等の訪問・交流（プレゼンテーションやディスカッション等）、現地視察、ワークショップ、報告会（『アクション・プラン』※の作成・発表）

※アクション・プラン：台湾で学び、経験したことを踏まえ、日台のネットワーク構築、日本に関する継続した情報発信を目的として作成する帰国後の活動計画のこと。

- 現地事情によりプログラム内容は変更される可能性があります。
- 全てグループ行動となり、自由行動の時間は基本的にはありません。また、途中離団等も認められません。
- 語学研修プログラムではありません。

5. 渡航前準備・プログラム中の活動・帰国後活動（全て必須）

(1) 渡航前準備（参加者各自で準備）

- 台湾及び日本の歴史、文化、政治、経済、および農業分野（スマート農業含む）の事前学習
- 1 月 16 日から 1 月 17 日のプレプログラムにおける日本の情報発信（日本の食文化やスマート農業技術に関するプレゼンテーション）に向けた準備（パワポ 1～2 枚（英語）、一人 3 分程度）※各班で発表内容が重ならないように分担すること
- プレプログラムに関して日本台湾交流協会 HP にて公開する概要報告の作成（各グループでまとめて A4 サイズ 1 枚、写真数枚）
- 3 月の訪台プログラムにおける情報発信（日台の食・スマート農業分野での協力の可能性に関するプレゼンテーション準備、パワポ 1～2 枚（英語））

(2) プログラム中の活動

- プログラム中の経験や日本の魅力を、Facebook・ブログ等の SNS で情報を可能な限り発信（公開設定にて）
- 日本の情報発信（プレゼンテーション）を実施
- アクション・プランの作成と最終報告会での発表
- 参加後のアンケート提出

(3) 帰国後の活動

- 日本台湾交流協会 HP にて公開する訪台に関する概要報告の作成（各グループでまとめて A4 サイズ 1 枚、写真数枚）
- アクション・プランの実施（帰国後 3 ヶ月以内に実施）
（例）日本台湾交流協会の HP への報告書掲載（必須・指定様式あり）（機関誌『交流』に掲載する可能性あり）／台湾に対する理解を深める継続学習／研究や論文テーマへの反映／在籍学校や地域での報告会実施／SNS での経験共有／メディアへの寄稿／同窓組織の立ち上げ／訪問校との継続交流など
- 3 ヶ月後アンケートの提出
- フォローアップ事業への参加

Ⅱ．募集要項（下記の項目を全て満たすこと）

【応募条件】

- 派遣時に大学、大学院に在籍している学生で、大学3年生、4年生、修士1年生、2年生であり、年齢35歳以下であること。（*1）
- 過去に日本政府の資金で実施している海外渡航プログラム参加経験がないこと。（*2）
- 台湾での6ヶ月以上の長期滞在経験がないこと。
- 心身ともに健康であること。（*3）
- 原則として日本国籍を有すること。（*4）
- 台湾への興味・関心・学ぶ意欲があり、英語または中国語で積極的に交流しコミュニケーションをとることができること（語学資格保有者を優先）。
- 事前資料（PPT等）の提出期限を必ず守り、積極的にプレゼンテーションやディスカッションで意見を述べるができること。
- 提出書類（作文）の作成において、ChatGPT等の生成AIによる自動生成テキストを使用していないこと（必ず応募者本人の言葉で記述してください）。
- プログラム期間中及び参加後、専門分野・訪問地等の発見・魅力についてSNS等による対外発信を1人4回以上自発的に実施できること。（必須）
- 本事業の趣旨を理解し、事前説明会、日本におけるプレプログラム、渡航前準備・プログラム中の活動・帰国後活動に主体的に取り組めること。（いずれかに参加しない場合は、参加資格を取り消します）
- 訪台期間中にオンライン等による就職活動（面接や説明会、インターンシップなど）に参加しないこと。
- 日本の代表という自覚を持ち、規律ある団体行動がとれ、実施・運営団体が定めたルール（自由行動禁止、門限厳守等）に従うことができること。
- 別紙『対日理解促進交流プログラム「JENESYS2026」参加同意に当たっての確認事項』をよく読み、参加同意書を提出すること。
- プログラムに遅刻・欠席する、プログラム期間中問題行動がある、注意喚起にもかかわらず提出期限を守らなかった参加者がいた場合、今後2年間、参加者の在籍する大学はJENESYS事業への参加が認められません。
- パスポートを2027年1月8日（金）までに取得・写しを提出できること。

※パスポートの有効期限に関する注意：

パスポートをお持ちの方でも、有効期限が切れている場合や、台湾入国時に必要な残存期間を満たしていない場合、また余白ページが3枚以下の場合は、参加決定後速やかに更新を行い、1月8日（金）までに写しを提出してください。

（*1）応募申込書、学生証にて確認します。

（*2）JASSO海外留学支援制度、トビタテ！留学JAPAN、内閣府青年国際交流事業、外務省派遣事業（KAKEHASHI、旧JENESYS等）などが対象です。各自で過去の参加歴をご確認ください。

（*3）集団行動かつ多忙なスケジュールとなるため、既往症・慢性疾患・怪我の治療中・妊娠中などの場合は参加できません（アレルギーによる食事制限には対応できない場合があります）。

（*4）永住者・特別永住者の方は証明書の写しを提出してください。外務省確認後に可否を決定します。

【募集人数】

10名（募集状況に応じて調整する場合があります）

【参加費（支給項目と自己負担項目）】

■プログラムが負担する費用

- プレプログラム（1月の合宿）での合宿交流中の滞在費（交通費、食費、宿泊費、視察入場料、体験料など）。※宿泊は原則複数名1室。
- 合宿は国立オリンピック記念青少年総合センター（代々木）での実施（現地集合）となります。集合場所までの交通費は含まれておらず、自己負担になります。
- 国際航空賃（日本国内の出入国国際空港～台湾 往復エコノミークラス）※自己都合による乗り遅れ等の買い直しは自己負担。
- 台湾滞在中の宿泊費（原則2～3名1室）、食費、移動交通費（プログラムに関わるもののみ）、施設入場料。
- 海外旅行傷害保険加入費（プログラム規定の補償内容）。

■参加者自己負担となる主な費用

- 旅券（パスポート）取得・更新にかかる費用。
- 自宅から日本国内の集合場所・解散場所（空港や合宿集合地）までの国内移動交通費。
- 航空機の超過手荷物料金。
- プレプログラムおよび台湾訪問で交流する学生へのお土産代。
- 前泊・後泊が必要な場合の日本国内での宿泊費。
- 渡航前準備・帰国後活動にかかる諸費用。
- 現地での私的な買い物、小遣い、チップ、通信費、ランドリー代など。
- 任意で別途加入する海外旅行傷害保険の費用。
- 参加決定後の自己都合キャンセルに伴うキャンセル料。

【提出書類】

1. 応募申込書（以下の URL より申し込みをお願いします）

[「JENESYS2026」台湾派遣プログラム 応募申込書 - フォームに記入する](#)



2. 参加同意書

※別紙、参加同意に当たっての確認事項を確認後、参加同意書を提出してください。

3. 作文（A4 用紙 1 枚、1,000 字以内）

テーマ：「台湾に伝えたい日本の食とスマート農業の現状、そして台湾での学びを今後の自身の歩みにどうつなげていくか」

※注意：生成 AI 等（ChatGPT など）を用いて作成された作文は無効（失格）とみなします。必ずご自身の言葉で執筆してください。

4. 語学試験資格の写し（保有している場合のみ。2、3 と同時に PDF にてお送りください。）

※実施・運営団体である国際協力サポーターズのホームページより、2、3 をダウンロードして記入ください。https://icos.or.jp/activities/activity_1/jenesys/

※参加決定後、在籍確認のため学生証の写し（写真またはPDF）の提出が必要です。

【提出期限】

応募書類提出：2026年11月20日（金）17時まで（必着）

※応募者が30名に達した時点で募集を締め切り、審査の上10名の参加者を決定いたします。

※期限を守れない場合や応募内容に虚危があった場合は参加を取り消します。選考理由に関する問い合わせにはお答えできません。

【提出方法・提出先】

提出書類一式をEメールにて、下記提出先までお送りください。

- 提出先メールアドレス： jenesys@icos.or.jp
- 件名： 「JENESYS2026」台湾派遣プログラム参加書類
- ファイル制限： 個人情報保護のため、添付ファイルにはパスワード「taiwan26」を設定してください。

Ⅲ. スケジュール

- 2026年11月20日（金）17:00： 応募書類提出締切
- 2026年12月2日（水）： 渡航者（合格者）決定
- 2026年12月16日（水）18:30～20:00： 第1回オリエンテーション（オンライン）
（内容：趣旨説明、必要手続き、リーダー決定、プレプレゼン説明など）
- 2027年1月8日（金）： パスポート写しおよび参加者情報提出締切
- 2027年1月13日（水）～1月19日（火）： 台湾大学生訪日団 来日期間
- 2027年1月16日（土）～1月17日（日）： 合同研修オリエンテーション
（場所：代々木オリンピックセンター）
- 2027年3月3日（水）18:30～20:00： 第2回オリエンテーション（オンライン）
（内容：最終日程確認、注意事項説明、訪台時プレゼンの事前演習など）
- 2027年3月10日（水）： 台湾へ出発（羽田または成田空港発）
- 2027年3月16日（火）： 帰国・解散

Ⅳ. お問い合わせ・提出先

対日理解促進交流プログラム「JENESYS2026」台湾派遣プログラム 事務局

実施・運営団体：一般社団法人国際協力サポーターズ（ICoS）

- E-mail： jenesys@icos.or.jp
- 受付時間： 月曜日～金曜日（09:30～17:30）※土・日・祝祭日除く

※お問い合わせの際には、必ず「JENESYS2026 台湾派遣プログラムの件」と件名に記載願います。